National

けむり当番 2種露出型（AC100Vコード式・移報接点付） 屋内専用 施工説明書

SH 11264・SH 11264P・SH 11264□□□

SH11264

- ●正しい施工をしていただくため、必ずお読みください。
- ●施工後、必ず施主様に商品説明をしていただき、取扱説明書と施工説明書をお渡しください。
- ●万一、施工説明書にしたがわず施工された場合は責任を負い兼ねることがあります。
- ●火災などによる損害については責任を負い兼ねますのでご了承ください。

付属品

●施工説明書（本紙）	1枚
●取付ネジ	2本
●取扱説明書（保証書付）	1冊
●お客様ご相談窓口一覧表	1枚

安全上のご注意

ケガや事故防止のため、以下のことを必ずお守りください。

⚠警告

■感電や故障の原因になりますので下記の項目をお守りください。
- ●電源プラグをコンセントから抜いた状態で施工してください。活線工事は感電や故障の原因となります。
- ●電源プラグは、確実に差し込んでください。差し込みが不十分な場合、発熱するおそれがあり、火災や焼損の原因となります。
- ●電源プラグをぬれた手で抜き差ししないでください。感電の原因となります。

■商品の取り付け、取りはずし、点検時は高所作業となり、転倒・落下などの危険があります。
足場の確保など安全に作業できるようご留意ください。

■この商品は壁面または天井面の丈夫なところに、しっかりと取り付けてください。取り付けに不備があると引きひも操作時に商品が落下し、ケガをしたり、他の物品を破損するおそれがあります。

■移報接点端子（DC30V 0.5A以下）にAC100V機器を絶対に接続しないでください。感電・故障の原因となります。

■商品の分解・改造は絶対しないでください。
感電・故障の原因となります。

■電源コードに家具などの重い物をのせないでください。
電源コードにキズがついて、火災や感電の原因となります。

■電源コードは、引っ張ったりしないでください。
発熱するおそれがあり、火災や焼損の原因となります。

⚠注意

■商品を落下させたり、衝撃を与えるような取り扱いはしないでください。故障の原因となります。

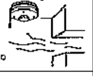
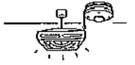
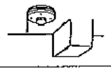
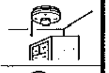
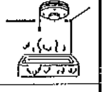
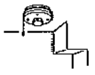
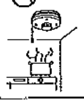
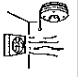
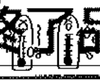
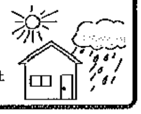
施工上のご注意

- ●この商品は **屋内専用** です。屋外・屋側には設置しないでください。
- ●商品の裏面からの埋込配線はしないでください。
- ●けむり当番にキズをつけたり、ペンキなどで塗装しないでください。

取付場所

■次のようなところにおすすめします。
- ●階段・廊下・寝室
- ●お年寄り・小さなお子様・ご病人がおやすみになっている部屋

⚠注意 ●次のような場所には設置しないでください。誤動作や故障の原因となります。

●空気の吹出し口の近く 🚫禁止 ●煙が流されてしまうため、検知しないおそれがあります。 	●照明器具の真上および近く 🚫禁止 
●たれ壁の近く 🚫禁止 ●たれ壁より60cm以上離してください。 	●タンスなどの真上 🚫禁止 ●タンスから60cm以上離してください。 
●浴室内や水のかかる場所や水滴のつくところ 🚫禁止 	●天井のはりの近く 🚫禁止 ●天井のはりより60cm以上離してください。 
●火災でない煙、蒸気などのかかる場所 🚫禁止 ●ダイニング、調理場の調理具の真上、ガレージなどに取り付ける場合はご注意ください。 	●換気扇（給気用）の近く 🚫禁止 ●煙が流されてしまうため、検知しないおそれがあります。 ●換気扇から1.5m以上離してください。 ※排気専用の場合は問題ありません。 
●取付場所の温度が0℃を下まわる、[illegible] 🚫禁止 	●屋外 ●屋外用ではありません。 🚫禁止 

生産終了品

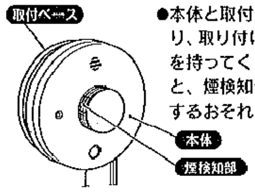
この商品は生産終了につき

取付方法

⚠警告

- ●商品の取り付け、点検時は高所作業となり、転倒・落下などの危険があります。足場の確保など安全に作業できるようご留意ください。
- ●移報接点端子（DC30V 0.5A以下）にAC100V機器を絶対に接続しないでください。感電・故障の原因となります。

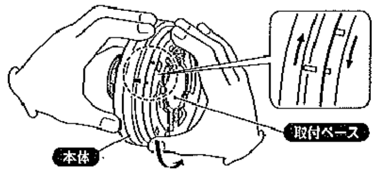
⚠注意



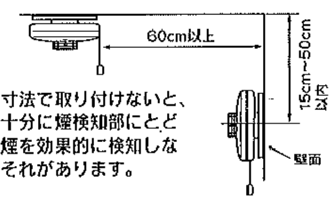
●本体と取付ベースを取りはずしたり、取り付けるときは、本体の外周を持ってください。煙検知部を持つと、煙検知部がはずれ、商品が破損するおそれがあります。

❶本体と取付ベースを取りはずす。

（取付ベースを本体に押しつけながらまわす。）

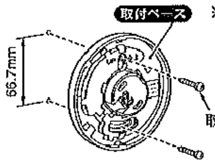


❷取付位置を決める。



（注）●右記寸法で取り付けないと、煙が十分に煙検知部にとどかず煙を効果的に検知しないおそれがあります。

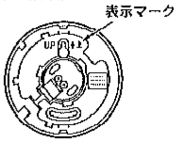
❸取付ベースを壁面または天井面に取り付ける。



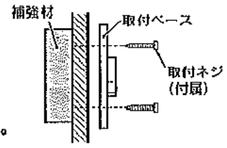
※移報接点端子を使用する場合は、右記の「移報接点端子の使用方法」を参照してください。

壁面に取り付ける場合

●表示マーク（UP⬆上）が上にくるように取り付けてください。（右図参照）

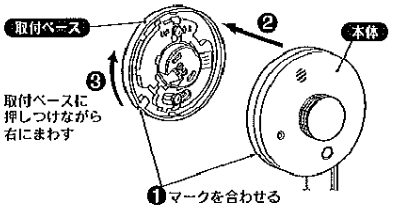


（注）●壁面または天井面の野縁などの補強材のある位置に取り付けてください。（下図参照）
ベニヤ板などの薄い天井材、石こうボードへ取り付ける場合は、補強材のある位置に取り付けてください。商品が落下するおそれがあります。



❹本体を取付ベースに取り付ける。

●本体のベース取付位置合わせマークと取付ベースの下側の位置合わせマークを合わせ、軽く押し込み上側の位置合わせマークまで、「カチン」と音がするまでまわしてください。

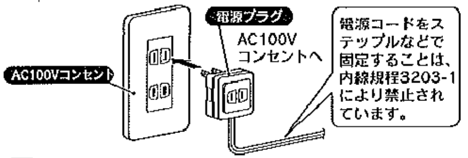


❺余った電源コードを本体と取付ベースの間に巻き付ける。

（注）●電源コードは右まわりに巻き付けてください。左まわりに巻き付けると電源コードがうまく巻き取れません。
●電源コードを巻き付けてからの余長（余り）については、電源プラグ側にたるみをもたせるか、付属のバンドでまとめてください。

❻電源プラグをAC100Vコンセントに差し込む。

（注）●電源プラグのコード長は約2.8mです。本体とコンセントの間が2.8m以下になるように取り付けてください。



電源コードをステップルなどで固定することは、内線規程3203-1により禁止されています。

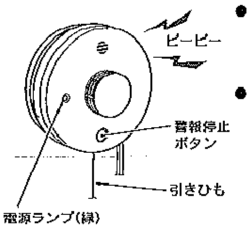
❼動作確認をする。

（詳細は取扱説明書の10・11ページを参照してください。）

通電状態の確認

- ●電源ランプ（緑）が点灯していれば正常です。
- ●電源ランプ（緑）が点灯していないときは取扱説明書の「9.異常時の点検・処置」（16・17ページ）をお読みください。

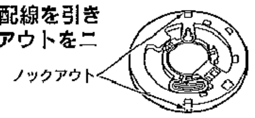
動作機能の確認（検知機能、警報機能の確認をします。）



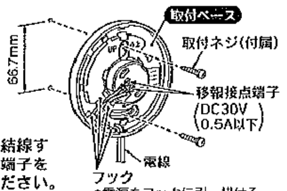
- ●引きひもを引くか警報停止ボタンを押し、警報音（ピーピー）が鳴れば正常に作動しています。
- ●警報音（ピーピー）が鳴らないときは取扱説明書の「9.異常時の点検・処置」（16・17ページ）をお読みください。

■移報接点端子の使用方法

1.取付ベース裏面の配線を引き出す方向のノックアウトをニッパなどで破る。



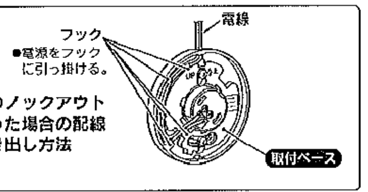
2.取付ベースを取り付けたあと、移報接点端子に結線する。



●電源をフックに引っ掛ける。

（注）●移報接点端子へ結線する場合は、圧着端子を使用しないでください。
●極性はありません。
●電線の余長（余り）がフックの高さをこえると本体の取り付けが困難になります。

※●電線は、0.5mm²または0.75mm²のより線を使用してください。
●配線長は、接続した機器の説明書を参照してください。

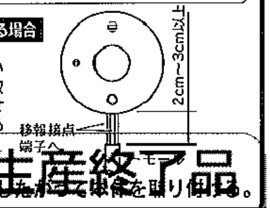


●電源をフックに引っ掛ける。

●逆側のノックアウトを破った場合の配線の引き出し方法

モールなどで配線を固定する場合

（注）●配線に余裕がない状態で、本体を取り付けるとはずせなくなる場合があります。



3.取付方法❹～❼に[illegible]本体を取り付ける。

生産終了品

この商品は生産終了につき

本社（〒571-8686）大阪府門真市門真1048 TEL(06)6908-1131（大代表） 松下電工株式会社 HA・セキュリティ事業部 津工場（〒514-8555）三重県津市大字藤方1668 TEL(059)228-1211（代）

8A2 987 00003

403-3